

—— 安心の提供と震災からの早期復興のために ——

いわき地域復興センターは、「いわき明星大学と東日本国際大学」が連携して、いわき地域に対する震災復興活動を行う拠点として設立されました。「福島県いわき地域の大学連携による震災復興プロジェクト」をテーマとして、両大学が持ついわき地域の魅力の再生に直結する専門性を提供することで、震災からの早期復興を目指します。

- 【事業の4つの柱】
- I 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業
 - II 震災記録の保存事業
 - III 被災地の情報発信による観光まちづくり事業
 - IV 被災障がい者自立支援促進事業

「震災記録の保存事業」 収集資料のご紹介

いわき地域復興センターが取り組む上記4事業のひとつである「震災記録の保存事業」では、東日本大震災および原発事故の記憶を後世に残すべく、震災に関する資料の収集を行っています。収集した資料は、いわき明星大学地域交流館内に設けた「震災アーカイブ室」にて、アーカイブ（資料の保存）しております。今回は、震災アーカイブ室で収集・保存している資料についてご紹介いたします。

震災アーカイブ室

「震災記録の保存事業」の拠点として、平成24年4月に設けられました。アーカイブ担当の研究員が震災資料の受領や収集資料の整理・保存作業を



行っているほか、一次資料・二次資料（下記参照）の保管場所でもあります。

【震災アーカイブ室】
いわき明星大学地域交流館 3F

資料収集の流れ

【①呼びかけ】

本事業のパンフレットの配布、各種イベント等での呼びかけ、メディアによる本事業の紹介、資料保有者への直接的な交渉等により資料提供を募ります。

【②書類受渡しおよび資料提供】

「資料提供申込書」に提供形態、資料の公開条件を含む必要事項を記入の上、提供資料とともに提出いただき、「資料受領書」をお渡しします。

【③保管】

資料データをコンピュータに入力し、データベースを構築するとともに資料を本アーカイブ室にて保管します。指定いただいた条件に基づき活用します。

収集資料の分類と内容

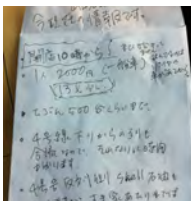
■一次資料

①紙資料：震災の様子が記録された紙資料

避難所やボランティアなどの名簿、メモ、チラシ、会議資料、手紙など



< 収集した避難所の
掲示物 (例) >



< 収集した震災当時の
メモ (例) >

震災当時避難所となった学校やボランティア団体、震災当時のメモをお持ちの方などに広く資料提供を呼びかけています。

②映像資料：被災当時の各地域の様子が撮影された写真や動画等

個人の方が撮影した地震や津波による災害のようすや、原発避難地域で警戒区域内に一時帰宅した際に撮影された写真や動画など

■市民の方からの提供写真等 (抜粋)



< 「東日本大震災被害写真集」 >



< 楡葉町の被害状況 >



撮影地域
・いわき市
・広野町
・楡葉町
・富岡町
・浪江町
など

■二次資料

一次資料の加工資料や図書や雑誌などの刊行物

- ①震災関連の発売書籍
- ②震災関連の非売書籍（学術論文・政府や行政が発行する刊行物等）
- ③公的機関・民間団体が発行した広報紙・ニュースレター等



< 震災関連書籍棚 (一部) >



< 収集したニュースレター (例)
商工会南双葉連携協議会「はまかせ」 >



■証言記録

震災直後から現在に至るまでの震災体験者や復興に携わる方の証言記録



< 研究員による証言記録収集のようす >



< 証言記録 (ウェブサイト掲載例) >

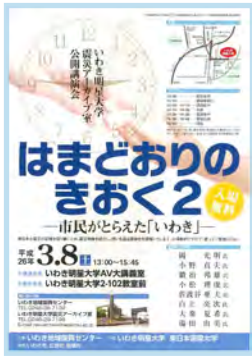
震災関連資料の収集にご協力ください

【お問い合わせ】いわき明星大学 震災アーカイブ室 ☎0246-29-7198

はまどおりのきおく 収集資料の一部はこちらのウェブサイトです！
URL: <http://hamadoori-kioku.revive-iwaki.net/>

第2回 震災アーカイブ室講演会 開催のご案内

いわき地域復興センターでは、「震災記録の保存事業」の取り組みとして、第2回震災アーカイブ室講演会を開催することとなりました。今回は、市内在住のアマチュア写真家である8名の方々に、ご自身が撮影された震災写真をご紹介します。東日本大震災3回目の被災祈念日を前に、地域の皆さまと共に今一度どういう事態であったのかを振り返り、震災の記憶を共有してみませんか。



<講演会チラシ>

【はまどおりのきおく2ー市民がとらえた「いわき」ー】

開催日時：平成26年3月8日（土） 13:00～15:45
講演会場：いわき明星大学 AV 大講義室
講演者：市内の写真愛好家8名
入場料：無料



震災資料（写真等）の展示も行います

時間：12:00～16:30

展示会場：いわき明星大学 2-102 教室

*講演会場並び

ドングリを測定しました

いわき地域復興センターでは福島県いわき建設事務所より依頼を受け、いわき明星大学環境放射線測定室にてドングリの放射能検査を行いました。いわき市内で集められたドングリ総量約7kgを、コナラ・スダジイ等種別に、数回に分け、全量検査いたしました。このドングリは、朝日新聞社主催の、子どもたちが学校で育てた苗木を東日本大震災の被災地に植樹する「緑の Baton 運動」に使われます。いわきのドングリが全国のどこかの学校で育てられ、津波で緑が失われてしまった被災地に戻って、子どもたちの思いとともにその地で育まれていくことでしょう。



- ①依頼者の方からドングリを受け取るようす
- ②お預かりしたドングリ
- ③ドングリをマリネリ容器にうつすようす
- ④NaI シンチレーション検出器で測定しているようす

【緑の Baton 運動】詳細は、下記ウェブサイトをご覧ください。
ホームページ <http://www.asahi.com/shimbun/green.html>
ブログ <http://green-baton.seesaa.net/>

第20回 ミニ相談会開催報告

いわき地域復興センターでは、1月23日（木）に「知っておきたい放射能測定～サーベイメータで計った空間線量率の中身～」をテーマとして、第20回ミニ相談会を開催しました。今回は、いわき明星大学の環境放射線測定室を会場に、種類の異なる放射線・放射能測定器をご紹介します、それぞれの測定器の特徴や測定された結果について、講師の先生にお話をいただきました。

■ 紹介したサーベイメータ

GM 管式
サーベイメータ

NaI シンチレーション式
サーベイメータ

LaBr₃(Ce) スペクトル
サーベイメータ <測定結果（スペクトルグラフ）の例>



<ミニ相談会のようす>

次回のミニ相談会

日時：2月26日（水）10：30～
場所：いわき明星大学本館 1F 教員談話室
テーマ：いわき明星大学での放射能測定
結果のまとめと考察
～放射能濃度の変化と傾向について～

文部科学省
平成23年度大学等における
地域復興のためのセンターの機能整備事業

いわき地域復興センター

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾74-8

Tel.0246-38-7132 Fax.0246-38-7134

URL <http://www.revive-uwaki.net/>



TOPIC 期間限定 畑の土壌 測定受付中！

3月22日までの期間限定で、自家消費作物栽培用の土壌の放射能測定を行っています。

詳しくは、当センター（☎0246-38-7132）まで！

